

肥育牛・乳用牛飼養農家 各位

大崎市長 伊藤 康志

(公印省略)

## 県内の稲わらの放射能測定結果及び今後の対応について(通知)

日頃より本市の畜産振興につきましては、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故については、事故後の放射線の影響を考慮し、各県で農畜産物の放射線量の調査を行っております。宮城県でも原乳をはじめ野菜等の農畜産物の放射能測定を3月下旬から行っておりますが、飲食制限に関する指標値をすべて下回り安全性に問題がないことが確認されています。

しかしながら、福島県南相馬市から東京都に出荷された牛肉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出され、原因は原発事故発生後にほ場から収集された稲わらを給与していたこととされており、宮城県で急遽、原発事故発生以降に収集された稲わらの放射性物質を調査したところ、下記の調査した3点(登米市2点、栗原市1点)から暫定許容値を上回る放射性セシウムが検出されました。

このため、原発事故発生後(平成23年3月11日以降)に収集された稲わらについて、肥育牛、乳用牛への給与を自粛するよう宮城県より要請がありましたので、対応方をお願い申し上げます。また、原発事故発生後(平成23年3月11日以降)に収集された稲わらを給与した肥育牛については、出荷を自粛するよう宮城県より要請がありましたので対応方をお願い申し上げます。

尚、今後も情報を共有している宮城県、大崎市、貴殿が所属する酪農組合や農協等に、随時最新情報を確認いただき、ご対応いただきたくお願い申し上げます。不明な点がございましたら、下記にご相談ください。

## 記

## 1. 測定結果(採取日 平成23年7月13日) (単位: Bq/kg)

採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
		測定値	換算値(水分80%)
登米市	不検出	3,647	831
登米市	不検出	1,632	372
栗原市	不検出	2,449	558

参考: 放射性セシウムの暫定許容値は、乳用牛及び肥育牛は「300Bq/kg」

## 2. 対象地域

宮城県内全域

※原発事故発生前に収集された稲わらでも、事故発生時にラップ等の包材なしに屋外で保管されていた場合は、給与を自粛願います。

担当 産業経済部農林振興課 農業経営係  
係長 安部祐輝 主査 福原貴之  
TEL 0229-23-7090 FAX 0229-23-7578  
e-mail nourin@city.osaki.miyagi.jp

肥育牛・乳用牛飼養農家の皆様へ

平成23年7月15日

宮 城 県

東京電力福島第一原発事故発生後（平成23年3月11日以降）  
に収集した稲わらの給与自粛について

先日、福島県南相馬市から東京都に出荷された牛肉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出され、原因は、原発事故発生後にほ場から収集された稲わらを給与していたこととされています。

これを受け、宮城県では、安全安心な牛肉生産のため、急遽、原発事故発生以降に収集された稲わらの放射性物質を調査したところ、調査した3点すべて暫定許容値を上回る放射性セシウムが検出されました。

このため、原発事故発生後に収集された稲わらについては、肥育牛、乳用牛への給与を自粛するようお願いいたします。

また、原発事故後に収集された稲わらを給与した肥育牛については、出荷を自粛するようお願いいたします。

記

対象地域：県内全域

